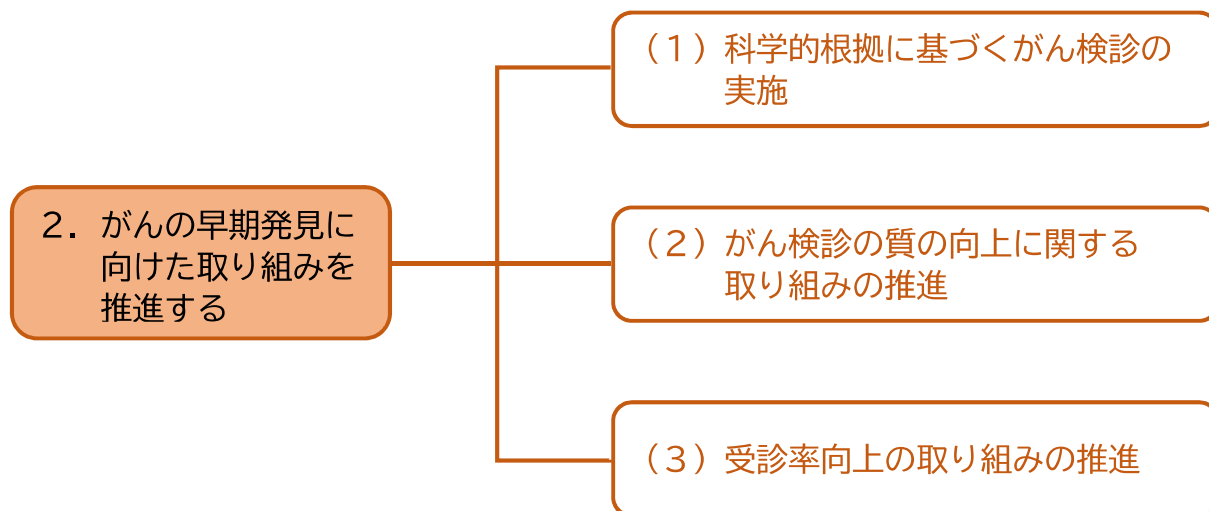


2. がんの早期発見に向けた取り組みを推進する



(1) 科学的根拠に基づくがん検診の実施

国は、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」において、胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がんの5つのがん検診を推奨しています。がん検診のメリット（利益）は、がんを早期に発見し治療につなげることにありますが、デメリット（不利益）としては、がんが100%見つかるわけではないことや、負担の大きい、または不要な検査や治療を招くことにあります。がん検診の利益と不利益について区民への理解を促進し、がん検診を推進していくことが必要です。

①国の指針を踏まえた検診の見直し、有効ながん検診の実施

【現状と課題】

国が推奨する5つのがん検診のうち、胃がん、大腸がん検診は国の指針に基づいて区が実施しています。一方、肺がん検診、子宮がん検診、乳がん検診は、国の指針に基づく以外の検査を実施しています。さらに、区では独自で胃がんリスク検診、前立腺がん検診、喉頭がん検診を行っています。当該検査・検診を受けることによる不利益が利益を上回る可能性があるため、今後、有効性について検証を行い、科学的根拠に基づいたがん検診を推進していくことが必要です。

【目標】

- がん検診の意義について区民に周知していきます。
- 国の指針に基づくがん検診を実施していきます。

【今後の取り組み】

○がん検診への区民の理解【拡充】

科学的根拠に基づいたがん検診について、検診のメリット・デメリットなど正しい知識をがん検診のチラシやホームページ等で区民に伝えます。

○国の指針に基づく5つのがん検診の実施および指針にない検診の見直し【拡充】

今後も、科学的根拠に基づくがん検診を実施するように努めます。現在行っている、指針にない検診については、医師会等と検診の有効性を十分に検証・協議を行い、実施の可否を検討していきます。

【目標値】

| 指 標 | 現行値 | 目標値 | 出 典 |
|-------------------|--------|-----|-------|
| 国の指針にないがん検査・検診の廃止 | 6検査・検診 | 減少 | 健康課資料 |

(2) がん検診の質の向上に関する取り組みの推進

科学的根拠に基づくがん検診であっても、その精度管理（検診が正しく行われているかを評価し、不備な点を改善すること）が行われなければ、効果が十分に発揮されることはありません。精度管理に必要な事項の整理や、評価体制の充実を図り、がん検診の質の向上に努めます。

①事業評価のためのチェックリストの実施

【現状と課題】

がん対策推進基本計画（第3期）では、取り組むべき施策の一つとして、国の指針に基づいたがん検診の実施および精度管理の向上が示されています。

品川区では、国が示す「事業評価のためのチェックリスト」および「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」の活用が十分ではありません。

がん検診の質を向上させていくために、「事業評価のためのチェックリスト」等の実施について取り組んでいく必要があります。

【目標】

○事業評価のためのチェックリストを実施する体制を整えていきます。

○必要最低限の精度管理項目を医師会等への委託仕様書へ適正に記載していきます。

【今後の取り組み】

○チェックリストの活用【拡充】

「事業評価のためのチェックリスト(市区町村用)」を活用し、実施項目が増加するよう検診制度を整備していきます。また、検診実施機関でのチェックリストの実施について医師会等と協議を進めていきます。

○仕様書への記載事項の整理【拡充】

「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」の委託仕様書への反映について、医師会と協議を進め適正な記載に努めていきます。

【目標値】

| 指 標 | 現行値 | 目標値 | 出 典 |
|--------------------|-------|-----|-------------------------------------------------------------------|
| 胃がん検診のチェックリスト実施項目 | 55.8% | 増加 | 「平成 29 年度市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」におけるチェックリスト実施率(東京都ホームページ) |
| 肺がん検診のチェックリスト実施項目 | 54.9% | 増加 | |
| 大腸がん検診のチェックリスト実施項目 | 55.8% | 増加 | |
| 子宮がん検診のチェックリスト実施項目 | 56.4% | 増加 | |
| 乳がん検診のチェックリスト実施項目 | 54.5% | 増加 | |

②精度管理委員会の開催・検証

【現状と課題】

がん検診の質の向上をめざすために、検診実施機関を対象に精度管理委員会を開催し、プロセス指標の評価、検診実施方法や読影体制の確認等を実施する必要があります。現在、区が主催する精度管理委員会は、胃がん内視鏡検診、乳がん検診、肺がん検診が行われていますが、このほかのがん検診についても開催が必要です。

【目標】

- すべてのがん検診について精度管理委員会を開催します。
- 各検診実施機関において、均質な検診を提供できるようにします。

【今後の取り組み】

○国の指針に基づくがん検診の精度管理委員会の開催【拡充】

乳がん検診、胃がん内視鏡検診、肺がん検診(一般コース)に加え、胃がんバリウム検診、大腸がん検診、子宮がん検診について、新たに精度管理委員会を開催します。

【目標値】

| 指 標 | 現行値 | 目標値 | 出 典 |
|----------------|------|---------|-------|
| 区が主催する精度管理委員会数 | 3委員会 | 全検診の委員会 | 健康課資料 |

③プロセス指標の活用

【現状と課題】

区が実施するがん検診(指針に基づく検診)のプロセス指標の現状は、国が定める目標値や許容値を満たしていない項目があります。

がん検診のプロセス指標の現状(平成 28 年度)

| | | 胃 | 肺(一般) | 大腸 | 子宮 | 乳 |
|-----------------------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|
| 要精検率 | 許容値 | 11.0%以下 | 3.0%以下 | 7.0%以下 | 1.4%以下 | 11.0%以下 |
| | 品川区 | 6.7% | 1.9% | 9.7% | 2.2% | 3.4% |
| 精検受診率 | 目標値 | 90%以上 | | | | |
| | 許容値 | 70%以上 | | | | 80%以上 |
| | 品川区 | 83.9% | 76.2% | 52.6% | 68.6% | 87.3% |
| 精検未把握率 ^{注1)} | 目標値 | 5%以下 | | | | |
| | 許容値 | 10%以下 | | | | |
| | 品川区 | 16.1% | 23.8% | 47.4% | 31.4% | 12.7% |
| 精検未受診率 ^{注1)} | 目標値 | 5%以下 | | | | |
| | 許容値 | 20%以下 | | | | 10%以下 |
| | 品川区 | - | - | - | - | - |
| 陽性反応適中度 | 許容値 | 1.0%以上 | 1.3%以上 | 1.9%以上 | 4.0%以上 | 2.5%以上 |
| | 品川区 | 1.9% | 2.5% | 2.4% | 1.5% | 14.0% |
| がん発見率 | 許容値 | 0.11%以上 | 0.03%以上 | 0.13%以上 | 0.05%以上 | 0.23%以上 |
| | 品川区 | 0.12% | 0.05% | 0.23% | 0.03% | 0.47% |

注1)「精検未把握数」に「精検未受診数」が含まれているため、「精検未受診率」の品川区の数値は「-」となっている。
平成 30 年度実績より各数値が算出可能。

注2) 色のついている値は許容値を満たしていない。

【目標】

○プロセス指標の許容値・目標値を達成できるように努めます。

【今後の取り組み】

○プロセス指標の検証と検診実施機関への働きかけ【拡充】

検診実施機関ごとにプロセス指標を算出し、検診の各工程が適切に行われたかどうかを検証していく必要があります。値を満たしていない機関には、原因究明と改善の働きかけを行います。

【目標値】

| 指標 | 現行値 | 目標値 | 出典 |
|--------|---------|--------------|--------------------------------------------|
| プロセス指標 | 上記表のとおり | 国の許容値・目標値の達成 | ○国立がん研究センター、がん対策情報センター ○東京都プロセス指標等一覧シート |

(3) 受診率向上の取り組みの推進

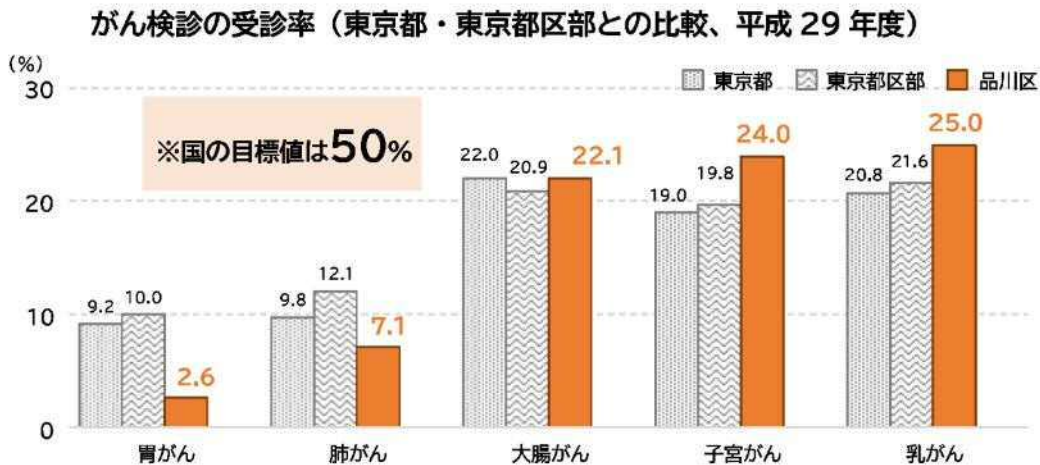
がん検診の目的は、がんを早期に発見し、治療につなげることです。一次検診はもちろん、一次検診で要精密検査と判定された場合は、精密検査を受診することが重要です。区民のがん検診を受けなかった理由を見ると、「必要性を感じなかった」がもっとも多いことから、がん検診とは何か、なぜ受診する必要があるのか、という理解を深める取り組みを推進します。

①がん検診受診率（一次検診）の向上

【現状と課題】

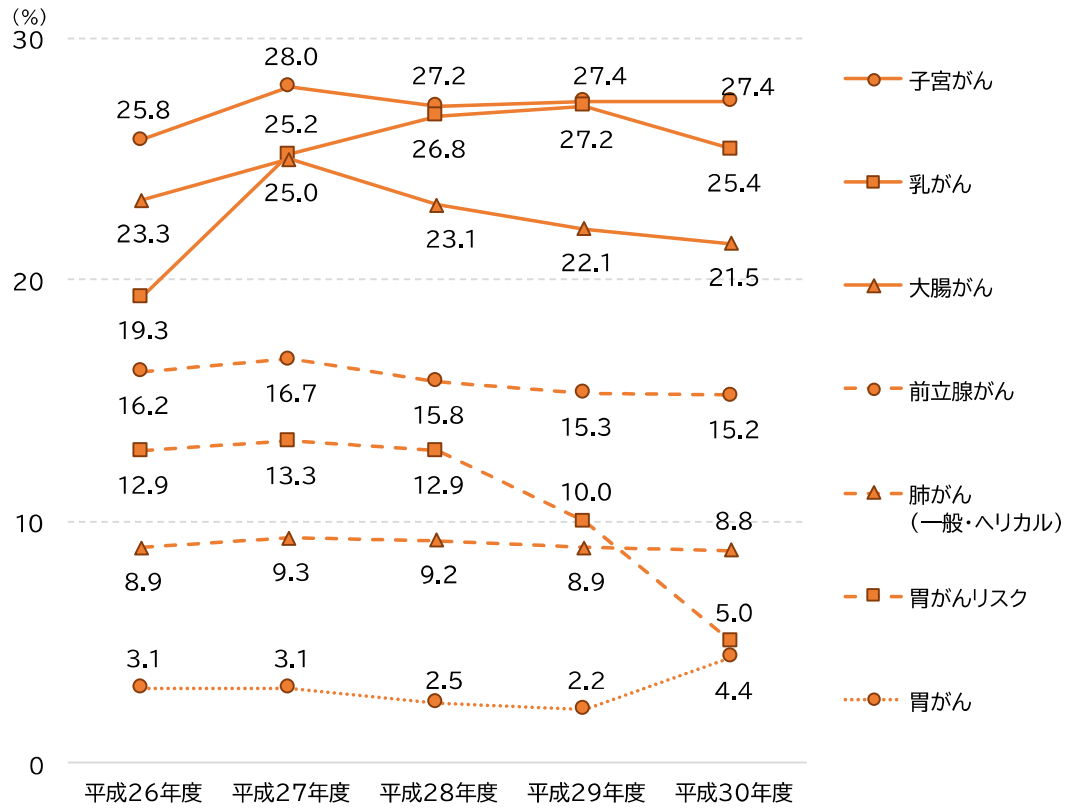
胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がんの5つのがん検診の受診率について、東京都や東京都区部と比較したところ、区の胃がんと肺がんの受診率がそれぞれ低くなっています。

区におけるがん検診の受診率の年次推移を見ると、子宮がんと乳がんが増加傾向にあるものの、胃がん、肺がん、大腸がんは横ばいとなっています。がん対策推進基本計画（第3期）で示されている目標値（50%）と比べると、すべてのがん種の受診率が都と区部とともに大幅に下回っています。



出典：東京都「平成30年度東京都がん検診精度管理評価事業」

区におけるがん検診の受診率の年次推移



出典：健康課資料

<参考>

東京都資料と品川区で算出した受診率が異なる理由

- 算定対象となる年齢の設定が異なる（東京都は指針に基づく対象年齢で算出）
- 検査内容が異なる（区の肺がん検診受診率は、ヘリカルCT検査受診者も加算、乳がん検診は超音波検査受診者も加算）
- 受診率の算出方法が異なる

東京都と品川区におけるがん検診の受診率の計算方法

| がん検診 | 実施主体 | 計算方法 |
|-------|------|------------------------------------------------------------------|
| 胃がん | 都 | $(前年度と当該年度の受診者数の合計 - 2年連続受診者数) \div (50歳以上の人口 \times 対象人口率^{注})$ |
| | 区 | 受診者数 \div (40歳以上の偶数年齢の人口 \times 対象人口率) |
| 肺がん | 都 | 受診者数 \div (40歳以上の人口 \times 対象人口率) |
| | 区 | 受診者数 \div (40歳以上の人口 \times 対象人口率) |
| 大腸がん | 都 | 受診者数 \div (40歳以上の人口 \times 対象人口率) |
| | 区 | 受診者数 \div (40歳以上の人口 \times 対象人口率) |
| 子宮がん | 都 | $(前年度と当該年度の受診者数の合計 - 2年連続受診者数) \div (20歳以上の女性人口 \times 対象人口率)$ |
| | 区 | 受診者数 \div (20歳以上の偶数年齢女性の人口 \times 対象人口率) |
| 乳がん | 都 | $(前年度と当該年度の受診者数の合計 - 2年連続受診者数) \div (40歳以上の女性人口 \times 対象人口率)$ |
| | 区 | 受診者数 \div (34歳以上の偶数年齢女性の人口 \times 対象人口率) |
| 胃リスク | 区 | 受診者数 \div 受診券発送数 |
| 前立腺がん | 区 | 受診者数 \div 55歳以上の男性人口 |
| 喉頭がん | 区 | 対象者が、喫煙している(た)方、自覚症状がある方なので受診率は出していない |

注) 対象人口率：職場で検診機会がある者や、人間ドック等でがん検診を受診した者を除いた、がん検診対象者の割合（東京都が実施する5年に1度の調査により算出）。

【目標】

○がん検診の受診率を高めます。

【今後の取り組み】

○案内のツール、啓発方法の工夫【拡充】

現在の、がん検診のチラシや検診実施機関一覧表を見直し、分かりやすく、受診率向上に寄与する内容に変更します。毎年11月を受診率アップ強化月間としがん検診の普及・啓発に努めます。ホームページやCATV等さまざまな媒体を活用した啓発方法を検討します。

○受診環境の整備【拡充】

区民のニーズに即した受診しやすい環境について、医師会等と協議・検討し体制を整えていきます。

○未受診者への勧奨【新規】

受診勧奨・再勧奨について検討し、効果的な施策を実施していきます。かかりつけ医師・歯科医師・薬剤師等と連携し、受診勧奨を行います。

【目標値】

| 指 標 | 現行値 ^{注1)} | 目標値 ^{注2)} | 出 典 |
|--------------|--------------------|--------------------|-----------------------------|
| 胃がん検診受診率 | 4.4% | 7.4% | 品川区健康課資料 (平成30年度 受診率) |
| 肺がん(一般)検診受診率 | 7.5% | 10.5% | |
| 大腸がん検診受診率 | 21.5% | 24.5% | |
| 子宮がん検診受診率 | 27.4% | 30.4% | |
| 乳がん検診受診率 | 25.4% | 28.4% | |

注1) 品川区が実施するがん検診の受診率。

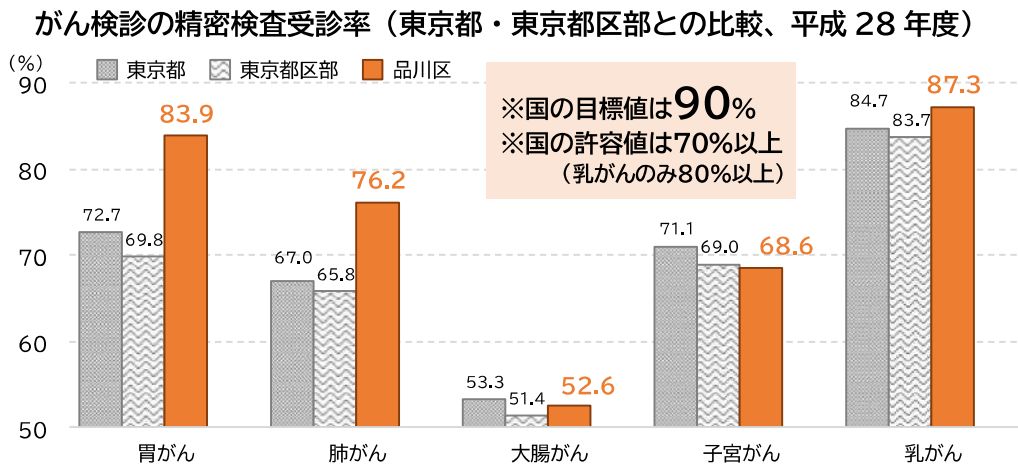
注2) 国の目標値50%をめざしつつも、当面は区の現状に照らした目標値(+3ポイント)を設定。

②精密検査受診率の向上

【現状と課題】

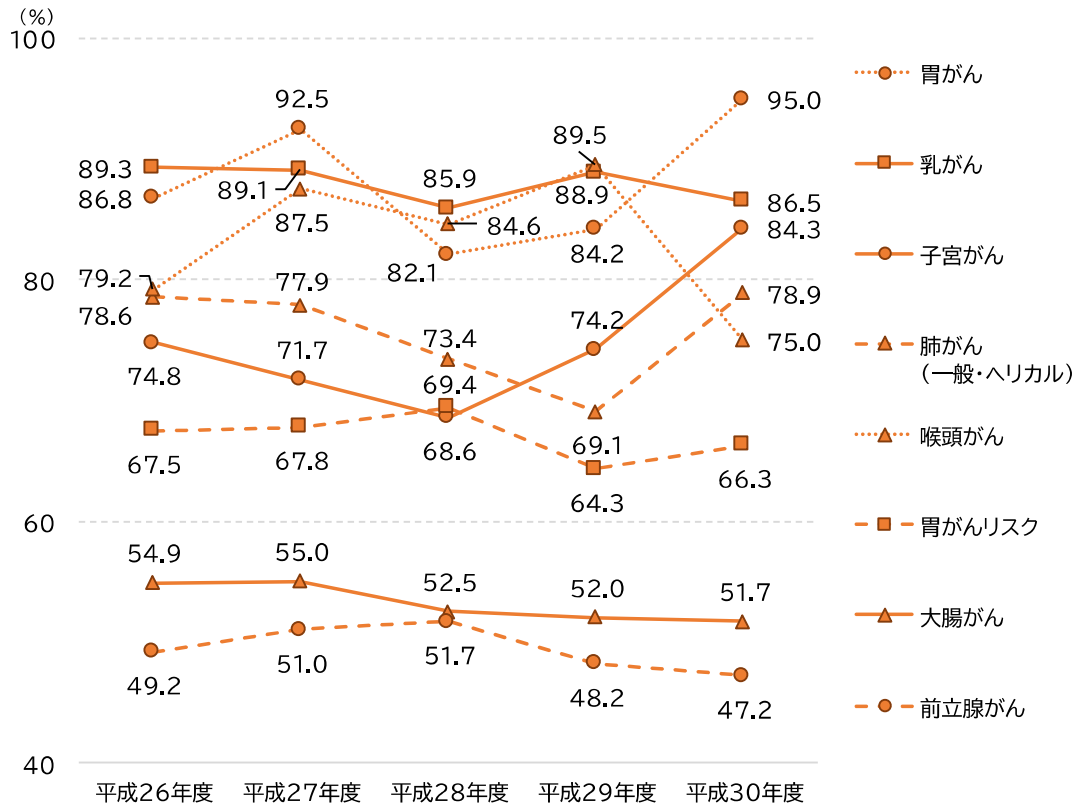
精密検査受診率について、東京都や東京都区部と比較したところ、区の胃がん、肺がん、大腸がんの受診率が東京都よりも高く、子宮がんの受診率が東京都や東京都区部よりもそれぞれ低くなっています。

区におけるがん検診の精密検査受診率の年次推移を見ると、肺がんは平成 26 年から減少傾向にあります。がん対策推進基本計画（第3期）で示されている目標値（90%）と比べると、胃がんは目標値にやや近いものの、その他のがん種は都と区部とともに下回っています。



出典：東京都「平成 30 年度東京都がん検診精度管理評価事業」

区におけるがん検診の精密検査受診率の年次推移



出典：健康課資料

【目標】

○がん検診の精密検査の受診率を高めます。

【今後の取り組み】

○案内や啓発方法の工夫【拡充】

精密検査が怖い・面倒等の理由で受診しない要精密検査の対象者へ、受診の重要性を案内するチラシ等を作成します。特に、受診率が低い大腸がんについて重点的に取り組みます。さらに、精密検査への不安感を解消できるように、がんについて相談できる場所を周知していきます。

○未受診者への勧奨【新規】

受診勧奨について検討し、効果的な施策を実施していきます。かかりつけ医師・歯科医師・薬剤師等と連携し、受診勧奨を行います。

【目標値】

再掲 2. がんの早期発見に向けた取り組みを推進する (2)がん検診の質の向上に関する取り組みの推進③プロセス指標の活用【目標値】

| 指標 | 現行値 | 目標値 | 出典 |
|---------------|-------|--------------|-----------------------------------------------------------|
| 胃がん検診精密検査受診率 | 83.9% | 国の許容値・目標値の達成 | ○国立がん研究センター、がん対策情報センター ○東京都プロセス指標等一覧シート (平成28年度受診率) |
| 肺がん検診精密検査受診率 | 76.2% | | |
| 大腸がん検診精密検査受診率 | 52.6% | | |
| 子宮がん検診精密検査受診率 | 68.6% | | |
| 乳がん検診精密検査受診率 | 87.3% | | |

コラム ▶ 区のがん検診について

区では、職場などで検診機会のない区民を対象に、各種がん検診を実施しています。自費でがん検診を受ける場合と比べて安価で検診を受けることができます。

品川区がん検診と自費でがん検診を受けた場合の自己負担金比較

| | 区のがん検診を受けた場合 | 自費で受けた場合 |
|----------------|--------------|---------------|
| 胃がん検診(内視鏡検査) | 2,000円 | 5,000～30,000円 |
| 子宮がん検診 | 無料 | 3,000～15,000円 |
| 乳がん検診(マンモグラフィ) | 500円 | 3,000～15,000円 |
| 肺がん検診(胸部X線検査) | 無料 | 3,000～10,000円 |
| 大腸がん検診 | 無料 | 2,000円前後 |

(区のがん検診の費用は令和2年3月現在のものです)
注)自費で受けた場合の費用はあくまでも目安です。